

株式会社近畿理研 代表取締役社長 川下 重彦氏

▶ interviewer 頭取 高橋 祥二郎 土山支店長 木村 斉

生産現場の健康を守るメンテナンス。
「顧客に役立つ」ために思いを一つに。

工場内設備の清掃やメンテナンスを行う「ファクトリーメンテナンス事業」を中心に、50年余り真つすぐ歩んできた株式会社近畿理研。「企業の生産活動を支えることで社会の豊かさに貢献したい」とのプロの誇りがみなる。



株式会社近畿理研 代表取締役社長 川下 重彦(かわした・しげひこ)氏

1958年生まれ。81年、岐阜経済大学経済学部卒業。同年、株式会社近畿理研に入社。取締役を経て2001年に代表取締役社長就任。一般社団法人滋賀県産業廃棄物協会理事、公益社団法人水口納税協会法人部会長、甲賀市商工会サービス業部会副会長など多数の公職を務める。

設備の不具合をすばやくキャッチし
工場の生産性や快適性を維持

高橋 ものづくりの現場で欠かすことのできない機械や設備のメンテナンス。近畿理研さんは、「ファクトリーメンテナンス事業」を中心に、幅広い製造業の活動を支えておられるそうですね。

川下 当社は「総合メンテナンス創造企業」として工場を中心に、オフィスや一般家庭、公共施設などで清掃・メンテナンスを手掛け、建物や空間が本来持つ生産性や安全性、居心地の良さや働きやすさといった能力の維持、向上に取り組ん

でいます。最も得意とする工場を例にとると、塗装ラインに塗料のカスが堆積すると良品率が下がって、最悪の場合はラインが停止してしまいます。空調設備の冷却塔内にスケール等が付着すると、冷却能力が低下して、電力の浪費につながります。病気に喩えらると内科系の疾患に

あたり、外からは見えにくいですが早期発見と治療を定期的に施さないと、その工場の健康は維持できません。
高橋 プラントメーカーによる設備機能の保守点検が外科治療だとすれば、御社が行う溜まった汚れを除去する保守管理は内科治療ということですね。具体的には、こういったサービスを提供されているのですか。

川下 生産設備では、生産ラインでの不良品の除去や清掃、集塵機の粉塵・汚れの除去とフィルターの洗浄、ろ過装置の槽内や乾燥炉に溜まったスケールの除去などが代表的な業務です。ろ過装置の汚れは放っておくと細菌が生じますし、乾燥炉の場合は火災へのリスクにつながります。空調設備では冷却塔やエアコン、冷却チャラー等の洗浄。排水や排ガスの処理施設といった環境プラントについては、タンク内の汚泥除去やダクト、配管、煙道や各種処理槽などの清掃・メンテナンスを行っています。

作業環境が改善すれば
やる気・企業への愛着が高まる

高橋 改めてお聞きしますが、工場の清掃・メンテナンスは企業にどのような「価値」をもたらすのですか。

川下 すぐにイメージしていただけるのは、生産性の向上と省エネ効果ではないでしょうか。設備の汚れは生産能力の低下や品質の悪化につながりますし、異物混入など最悪の事態を招く場合もあります。空調・照明設備のメンテナンスではエネルギーコストの削減につながります。また、設備の機能を回復させて設備の延命化を図る効果もあります。さらに環境プラントでは、工場周辺の環境基準を守る効果もあり、環境に対する重要な手法だと考えています。社会の環境意識が高まる中で、環境プラントの機能維持・向上を求める企業は増える一方です。当社の社会的役割もさらに重みを増してきました。

木村 働く環境がきれいになると、従業員のやる気も増しますよね。
川下 それこそ私たちが一番お伝えしたいファクトリーメンテナンスの特長です。乱雑で汚れた作業環境は効率の低下を生み、ミスや事故を招きます。清掃や保守管理が行き届いた環境なら、働く人も



工業用内視鏡を用いて配管内の検査を行う

やる気と誇りを持てますし、企業への愛着も湧くでしょう。そう考えると、人材の確保という今後ますます重要な経営課題に大きなインパクトを与えます。また、地震や台風等の自然災害に備える工場の防災力でも、ファクトリーメンテナンスがさまざまな役割を果たせるのではないかと考えています。そんな社会ニーズの高まりを感じています。

経営理念「三喜の精神」は
2代目女性社長の苦勞から生まれた

高橋 御社は甲賀市土山町の本社に管理機能を集約し、滋賀県内の高月事業所と能登川事業所、九州の福岡事業所でファクトリーメンテナンスを手掛けられています。高月と能登川の2拠点は県内の大手ガラスメーカーとの取り引きがとて深いようですね。

※1 スケール/水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどの不溶解成分が設備などに付着したもの。 ※2 チャラー/一定温度にコントロールした水を循環することで、熱源を冷却または温調する装置。 ※3 ダクト/冷暖房や換気などのために空気を送る管、送風管。

土山町の本社の前で右から高橋頭取、川下重彦社長、木村支店長

近畿グループ経営理念

三喜の精神

お客様に喜ばれる仕事をしよう。
お客様第一主義を基本として、お役に立てる、感謝される仕事を推進します。

全社員が喜べる事業を創造しよう。
働く誰もが責任を自覚し、誇りとやりがいの持てる事業活動を推進します。

地域社会に喜ばれる会社を創ろう。
あらゆる事業活動を通じて社会に貢献し、信頼される会社創りを推進します。



近畿グループ経営理念「三喜の精神」の説明を聞く

川下 そのメーカーさんとは、当社が1963年に創業後ほどなくして、取り引きが始まりました。私の父で創業者の川下勲は画家で生計を立てていましたが、公害が社会問題になる中で「環境関連の仕事」を志して、信楽の窯元からの依頼で窯にたまるスラッジ(重油の燃えかす)の清掃を始めました。翌年には、同メーカーさんが高月に工場を新設。父は人脈もないその工場に日参して取り引きにこぎつけました。その取り引きが、その後の近畿理研の発展につながりました。

高橋 ところが、礎を築かれた創業者の勲社長は77年に病気で急逝。奥さまの喜代子氏(現近畿グループ会長)が成長途上の御社を急ぎよ引き継ぐことになり、苦労の道を歩まれたとお聞きしています。

入等を、「三陽輸送」は天津市の上田上に流通ターミナルを開設して、物流サービスを行っています。四つのグループ会社は、近畿理研の事業と直接の関係はありません。ただ、総合力を持つグループとしての安心感がメンテナンス事業の販路開拓につながるなど、その効果は少なくありません。

高橋 近畿理研さんは家庭の床や台所、トイレを清掃する「暮らしのメンテナンス事業」も手掛け、一般の住宅だけでなく、介護施設や体育館等の福祉・公共施設でもプロの清掃技術を振るわれています。

川下 92年に高圧水による建物の外壁清掃の事業を始めたところ、外壁だけでなく室内も清掃してほしいとの要望もあり、多様なサービスを提供するようになりました。この事業では地域社会との縁も深まり、鍛えたプロの技を地域に提供する

川下 母が舐めた苦労は並大抵ではなかったようです。女性の地位がまだ低かった時代。2代目社長として世間に認めてもらおうと、人の倍以上の努力を重ねました。その一つがお得意先への月初めの挨拶まわりで、社長在任中は1度も欠かさず続けました。私もそれに倣って継続していますが、思った以上に大変です。私が大切にしている従業員と誠実に向きあう姿勢も、母から学んだものです。

高橋 「お客様に喜ばれる仕事をしよう。全社員が喜べる事業を創造しよう。地域社会に喜ばれる会社を創ろう」の「三喜の精神」を経営理念に掲げられたのも喜代子会長ですね。「三方よし」に通じながら、御社ならではの心意気がにじみまします。

川下 「三喜の精神」に背かず、誠実に業務に励んだおかげで、現在は多くの企業から、工場の清掃・メンテナンスをお任せいただいています。当社の強みは、15都府県で産業廃棄物収集運搬業許可を取得していること、高月、能登川、福岡の事業所に五つの倉庫を構えていることです。産業廃棄物事業では、処理が難しい特別管理産業廃棄物収集運搬業許可と各地の最終処分業者との太いネットワークもあり、工場の清掃・メンテナンス業務で回収した廃棄物を最終処分地に運ぶまでの全工程を引き受けています。工場のメン

ことで、住宅・オフィスビルの快適性や資産価値が高まればと思っています。

悩みを真摯に受け止め 現場に役立つシステムを提案

高橋 事業を進められる中でお客さまから相談を受けることも多いようですね。**川下** 多様なお客さまから実にさまざまに悩みをお聞きします。工場の生産性に関するものが多く、お客さまにとって早期に解決すべき案件ですから、真摯にお応えするように心掛けています。そこから生まれたのが、集塵機のカートリッジフィルターの交換洗浄サービスです。集塵機のフィルターは定期的な洗浄が必要ですが、機械を一時止めることはできません。そこで予備のフィルターを用意し、終業時に汚れたフィルターと取り換えて、持ち帰って洗浄するシステ



2009年開設の福岡事業所。工場のメンテナンスから倉庫まで一体となり推進されている

テナンスと倉庫業務が一体となり、うまく推進しているのが福岡事業所です。この事業所は自動車や住宅関連のお客さまが多く、清掃・メンテナンスをお受けすると、製品の保管業務まで依頼されると、ほとんどです。倉庫事業の強みが相乗効果となって十分に発揮されています。

木村 「フットワークが軽く、対応力のある人員配置」が生む機動力も、御社の強みだとお聞きしています。

緊急時にも即応できる機動力と 安全意識の高さが自慢

川下 当社にメンテナンスの依頼があるのは、お客さまにとって「もう待てない」という緊急を要する場合が多く、非常時に駆けつけられる機動力は不可欠です。とはいっても人員に余裕があるわけでは

ムを提案しました。

高橋 最近、御社が独自に開発された「フレコンフィルター」も、お客さまの困り事に真摯に応える姿勢から生まれたそうですね。

川下 専用のタンク内にフレキシブルコンテナ(フレコン)をセットし、バキューム車の吸引力で、粉体や汚泥などを吸い取り回収する装置です。フレコン



特許出願中
原料回収や油水分離槽の回収などさまざまな用途に使用できる「フレコンフィルター」

なく、突発事態にも即応でき、スタッフの最適配置の采配がふるえる「やりくり上手な現場責任者」が多数いるのも大きな力です。これも長い歴史の中で培ってきた豊富な経験と知識の積み重ねがあったおかげです。さらに、危険物取扱管理者や公害防止管理者等の資格保有者も多く、特殊な技能が求められる業務では、迅速で適切なスタッフ派遣につながります。

高橋 長い実績の中で、労働災害の発生が極めて少ないとお聞きしています。

川下 現場に潜むリスクを事前に洗い出すリスクアセスメントをはじめ、新しい手法に基づく安全の取り組みを各職場で強化してきた成果でしょう。「考動を積み重ね、一歩先行く安全作業を実現しよう」等の安全スローガンも毎年設定しています。また、私たちの業務は高所や狭所などリスクと隣り合わせの現場が多く、それがかえってスタッフの安全意識を高めています。

高橋 業務請負や倉庫事業を営む「近畿化学工業」、各種保険代行や不動産管理の「近畿エイブル」など4社と「近畿グループ」を形成されています。従業員数はグループ全体で約400人おられるそうですね。

川下 「三陽建材」は大手ガラスメーカーさんが使用する原材料の運搬や投

がフィルター代わりとなり、対象物を簡易ろ過してくれます。例えばコンベアから床にこぼれた原料を回収して再度使用する場合などに、効率の良いフィルターです。導入によって原料回収に費やす労力が減り、生産性が上がったと声をいただきました。これからも「現場の悩み」に丁寧にお応えするとともに、設備や生産ラインのトラブル発生を事前診断で未然に防ぐ、予防医学ならぬ「予防メンテナンス」にも力を入れていきたいと思っています。今後も工場のメンテナンスにはさまざまなニーズが寄せられるでしょう。私たちは常に「選ばれる会社」であり続けたいと考え、一層の精進を図っていきます。

高橋 御社のご尽力は健やかな社会には欠かせない力です。本日はありがとうございました。

会社概要

株式会社近畿理研

- 本社/甲賀市土山町北土山1662
- 資本金/4,000万円
- 従業員数/130名
- 事業内容/ファクトリーメンテナンス事業、暮らしのメンテナンス事業、産業廃棄物収集運搬事業、運輸・倉庫事業
- URL/http://www.kinkigrp.co.jp/riken/

沿革

- 1963年 近畿理研工業として創業
- 1972年 株式会社近畿理研に法人改組
- 1975年 滋賀県、大阪府、奈良県、三重県等の産業廃棄物処理業許可を受ける
- 1981年 ガラス繊維業務部門を近畿化学工業株式会社に法人改組
- 1986年 高月事業所・事務所竣工
- 1988年 高月倉庫竣工
- 1995年 近畿グループ経営理念「三喜の精神」を発表
- 2007年 ISO14001認証取得
- 2009年 福岡事業所・物流センター開設
- 2010年 能登川事業所・事務所竣工
- 2013年 福岡事業所・倉庫 太陽光発電の開始
- 2013年 創業50周年記念式典開催
- 2014年 彦根市柳川・太陽光発電の開始
- 2016年 福岡事業所・第2倉庫を竣工

